

# 美容機能性素材の探索と生産及びその利用に関する研究（第2報）

－カタクリ草の美容健康機能性に関する評価－

## Exploratory research of functional materials having beauty and health effect (Part 2)

-Beauty and health functionality assessment of *Erythronium japonicum* Decne.-

岩間直子

カタクリ草 (*Erythronium japonicum* Decne.) は青森県において群生地が多数存在し、その葉部分は山菜として食習慣がある。しかし、これまでに生理機能性についてはあまり明らかにされてきていない。本研究では、青森県に自生するカタクリ草が生体の健康及び美容に及ぼす影響を評価することにより生理機能性を明らかにし、新たな青森県産機能性素材としての健康食品及び化粧品への利用の可能性を検討した。

前報において、青森県内群生地で採取したカタクリ草の各部位（葉部、茎部及び果実）の各抽出試料液をマウスマクロファージ様細胞 RAW264.7 に添加して、リポ多糖刺激後の炎症性サイトカイン TNF $\alpha$  及び NO（一酸化窒素）の産生量を測定し、炎症関連物質産生抑制作用を評価した。その結果、葉部位抽出試料液の添加によって、TNF $\alpha$  と NO とともに産生量が著しく減少することが見出され、カタクリ草葉部位は非常に強い抗炎症作用を有するものと推測された。

そのため、今回はカタクリ草葉部位抽出エキスが TNF $\alpha$  及びそのほかの炎症性サイトカインの遺伝子発現に及ぼす影響を検討し、抗炎症作用の機序について解析を行った。葉部位抽出エキスの添加によって、TNF $\alpha$  やいくつかの炎症性サイトカインも遺伝子発現が抑制されることが明らかとなった。

